

Cisco Content Distribution Manager for Enterprise

簡単なグラフィカルユーザーインターフェースを使って
コンテンツとメディアの配信を完全に管理



製品概要

ビジネスの世界は大きく変容しており、スピードが最も重要な要素となっています。また、顧客は地球規模に存在し、競争は激化しています。そして、企業のブランドの威力は、それをサポートするコミュニケーションによって決まります。こうした課題に対応するために、シスコでは、ネットワークエッジにコンテンツ配信のためのインテリジェントな製品ラインを提供しています。これらの製品を使ったローカルアクセスによってパフォーマンスと品質が改善され、WAN輻輳を心配することなく企業全体で豊富なコンテンツを提供できるようになります。

Cisco CDN (Content Delivery Networking) ソリューションは、画期的なSODA (Self-Organizing Distributed Architecture) テクノロジをベースとしています。SODA テクノロジは、スマートな「コンテンツエンジン」を使ってWeb上でマルチメディア情報を配信します。手軽なコストと容易なインストールで導入できるCisco Content Distribution ManagerとCisco Content Engineにより、テレビと同じ品質のビデオなどの高帯域なマルチメディア情報を、管理タスクなしで迅速に配信できるようになります。

Content Distribution Manager

インテリジェントなコンテンツ配信システムの中心となるのは、Cisco Content Distribution Managerです。Content Distribution Managerによって、エンドユーザーサイトに設置されている全Cisco Content Engineを含むメディア配

信ネットワーク全体を完全に管理することができます。Cisco Content Engineは、メディアを受信し、それをLAN (ローカルエリアネットワーク) を通して視聴者に流します。Content Distribution ManagerのパワフルでしかもシンプルなWebブラウザベースのユーザーインターフェースを使用して、世界中のCisco Content Engineの構成 / 監視、テレビと同品質のビデオなどのマルチメディア情報のインポート / プレビュー、およびイントラネット / エクストラネットのためのマルチメディアサイト作成といったことができます。また、WAN (ワイドエリアネットワーク) 上でCisco Content Engineにメディアを配信するための最大使用帯域幅と、LAN上でコンテンツエンジンからエンドユーザーにメディアを配信するための最大使用帯域幅を設定することで、ネットワークの輻輳を確実に回避できます。



図1 Cisco Content Distribution Managerでは、使用の簡単なグラフィカルユーザーインターフェースを使ってコンテンツとメディアの配信を完全に管理できます。

主な機能と利点

コンテンツの配信を完全に管理

- 画期的なSODAテクノロジーにより、インターネットに接続された任意のLAN上のCisco Content Engineに、高帯域メディアファイルを自動複製
- シンプルで分かりやすいコマンドを使って、複製するメディアファイルを追加、削除、選択可能
- 複製前にメディアファイルのプレビューが可能
- 数千のCisco Content Engineを集中管理
- 自動インテリジェントルーティングとサーバ選択
- SSL (Secure Socket Layer) 暗号化を使い、耐障害性に優れた安全なファイル転送により、セキュアなメディア転送を提供
- 「配信リスト」を使って散在する視聴者にメディアを配信するためのチャンネル構成

ネットワーク帯域幅を完全に制御

ネットワークの輻輳を回避するために、Cisco Content Distribution Managerは完全な帯域幅制御機能を提供します。Content Distribution ManagerからリモートにあるコンテンツエンジンへのWAN上の最大使用帯域幅、およびコンテンツエンジンからエンドユーザーデスクトップへのLAN上の最大使用帯域幅を設定できます。大容量ファイルを夜間やオフピーク時に配信したり、時間や曜日によって複製を指定できるため、ネットワークの輻輳が発生したり他の業務に影響を与えることはありません。WAN上の複製とLAN上の再生の両方に対して、中央の1つのユーザーインターフェースから完全な制御機能を提供できるのは、シスコだけです。これによって、ネットワークリソースを最も効率的に使用することができます。

卓越したWeb統合機能

Cisco Content Distribution Managerは、1つのメディアファイルに対して1つのURLを作成して、Webとの迅速で簡単な統合を実

現します。このURLには、現場のコンテンツエンジン数に関係なく、いくつものコンテンツエンジンがアクセスできます。既存のイントラネットまたはエクストラネットページに1つのURLをカット&ペーストすることで、それぞれのトランザクションを管理することなく、迅速、簡単、かつ効果的にコンテンツを管理/配信できます。エンドユーザーは、Webページで新しいメディアリンクをクリックするだけで、簡単にメディアを表示できます。コマンドは最も隣接するコンテンツエンジンにリダイレクトされ、コンテンツエンジンはメディアをローカルに流します。これによってエンドユーザーには、可能な限り最高のWebからのレスポンスが提供されます。

- サムネイル参照イメージとサンプルWebページを自動的に生成して、企業エクストラネット、イントラネット、およびインターネットサイトと統合
- 1つのメディアファイルに1つのURLを作成することにより、あらゆるWebサイトをシームレスに統合
- HTML/DHTML、XML (eXtensible Markup Language)、およびSMILといったWebマルチメディア・プレゼンテーション標準に統合

どこの視聴者からも到達可能にする 代替メディア配信機能

Cisco CDNソリューションの主要な利点は、あらゆるIPネットワーク上で高帯域コンテンツを配信する能力です。しかし、Cisco Content Distribution Managerは、対象の視聴者がLAN上のCisco Content Engineに接続していない場合でも、リッチメディアの配信を可能にします。Content Distribution Managerの代替メディア配信機能を使用すると、より低帯域な代替メディアを再生するためのURLを作成しておいて、オフィスの外にいるユーザーに対してこれを提供することができます。視聴者がLANに接続しているときにはリッチコンテンツ配信機能を使用できますが、外出時などの場合には低帯域ビデオ、カスタムHTML ページ、またはPowerPoint プレゼンテーションなどのコンテンツにアクセスすることになります。

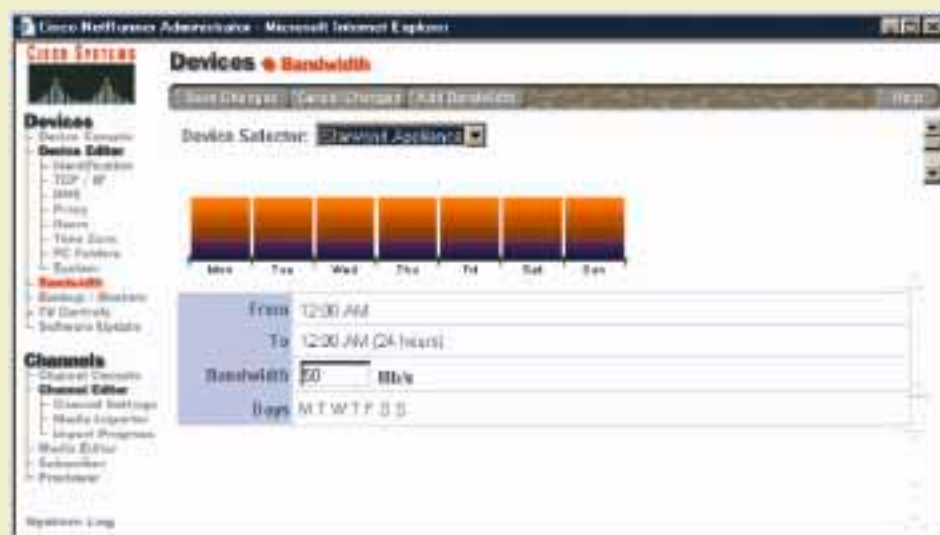
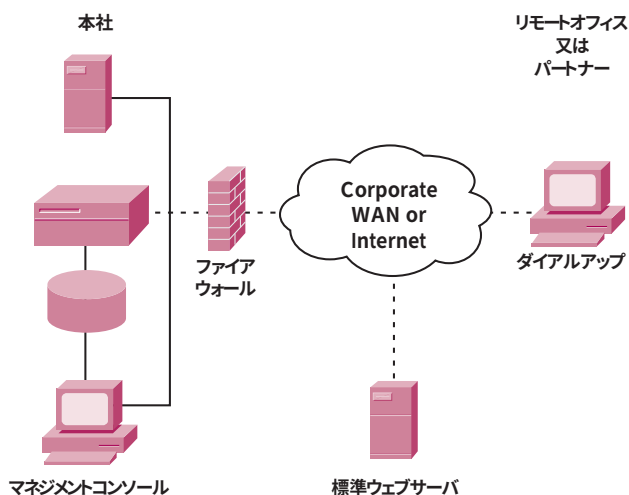


図2 Cisco Content Distribution Manager を使用すると、企業は、時間、曜日、場所、そして帯域幅の設定も制御できるため、配信プロセスを完全に管理することが可能になります。

図3 Cisco Content Distribution Manager によって、迅速、安全、かつ簡単にファイルを複製できます。



- ・ Media is Requested from Content Distribution Manager
- ・ Content Distribution Manager Determines that Client is Outside of Coverage Zone
- ・ Content Distribution Manager Redirects Request to Another URL Either Local or Across the Internet
- ・ Alternate Media is Served to the Client

帯域幅を増加させることなく、迅速かつ安全にメディアを複製

Cisco Content Distribution Managerは、複製というプロセスによってネットワーク上の各Content Engineにコンテンツを配信し、SSL暗号化を使って機密データを保護します。このシスコのソリューションでは、それぞれのコンテンツエンジンが保持しているのはオリジナルコンテンツの複製であるため、Cisco Content Distribution Managerという1つのソースからメディアを配信したり削除できます。したがって、数千のコンテンツエンジンが導入されている場合でもメディアを簡単に管理できます。さらに、WAN上で低帯域幅を使ってメディアを配信しておいて、LANで利用可能な帯域幅を使ってデスクトップにメディアを配信するため、ネットワークリソースを効率的に利用できます。メディアに対するリクエストが1回であっても千回であっても、WANの負荷が増えることはありません。シスコだけが、あらゆるリッチメディアの配信にこのようなコスト効果の高い革新的アプローチを提供しています。HTTP(Hypertext Transfer Protocol)を使ってファイル転送を行うCisco Content Distribution ManagerとCisco Content Engine は、企業ファイアウォールに保護された環境でも通信できます。



図4 Content Distribution Manger のチャネルエディタ機能を使用すれば、メディアファイルの編成を簡単に行うことができます。

柔軟なインポート機能

- ・ MPEG-1(Motion Picture Experts Group 1)、MPEG-2、RealVideo、Windows Media、AVI、QuickTimeなどの標準ビデオフォーマットをインポート
- ・ PDF、バイナリ、CAD/CAM、PowerPoint、およびMacromedia Shockwaveといったビデオ以外の標準ファイルタイプをインポート
- ・ FTP(File Transfer Protocol)、Microsoft Windowsのネットワークコンピュータからのドラッグ&ドロップ、またはWebサーバからのコピーという3つの柔軟なインポートオプションを提供

耐障害性と障害防止機能

Cisco CDNソリューションは、デバイスとネットワーク両方の耐障害性を提供して、1カ所での障害がネットワーク全体に影響しないようにします。コンテンツエンジンに障害が発生すると、トラフィックはコンテンツエンジンクラスターの他のメンバーに自動的に再配分され、ネットワークポロジが再構築されます。ファイル複製時に障害が発生した場合は、ネットワークの再構成後、中断されたポイントから複製が再開されます。

仕様

表1：ハードウェア

項 目	Cisco Content Distribution Manager 4650	Cisco Content Distribution Manager 4630
CPU	2x866 Xeon	600-MHz PIII
RAM	512 MB	256 MB
ネットワークインタフェース	オートセンシング10/100BASE-T	オートセンシング10/100BASE-T
ストレージ容量	140GB RAID5	2×18G、10K RPM、Ultra2 SCSI ディスクドライブ
ラックユニット	7	1
寸法(H×W×D)	30.5×44×71.1cm (12.25×17.5×28 インチ)	
重量	5.7kg (12.5lb)	
動作温度	0～45°C (32～113 F)	
非動作時温度	-25～70°C (-13～158 F)	
湿度(結露しないこと)	95%RH (非動作時)	
動作時衝撃	5G 継続時間 11-ms、1/2 正弦ショックパルス	
非動作時衝撃	20G 継続時間 11-ms、1/2 正弦ショックパルス	
動作時振動	ランダム振動 5-10Hz 5db/ オクターブ、ランダム振動 10、ランダム振動 200-500Hz 5db/ オクターブ	
非動作時振動	ランダム振動 5-10Hz 5db/ オクターブ、ランダム振動 10、ランダム振動 100-500Hz 5db/ オクターブ	
電源 / 電流要件	ユニバーサル入力 100-127V、200-240V 周波数 50-60Hz 最大電力 130W 電流最大 2A	

表2:ソフトウェア機能

デバイスマネージャ、リモートソフトウェア更新機能装備
チャネルマネージャ、100 チャネルのライセンス付き
帯域幅 マネージャ
メディアインボータ、Web ページ作成機能装備
メディアプレビュー機能、テストストリーミング機能装備
メディア複製エンジン、SODA ルータ装備
コンテンツエンジン選択用の複製ルータ

©2001 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Cisco と Cisco Systems は商標です。Cisco のロゴは Cisco Systems, Inc. の登録商標です。
この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。
本仕様は予告なしに変更される場合があります。



シスコシステムズ株式会社
URL:<http://www.cisco.com/jip/>
問合せURL:<http://www.cisco.com/jip/go/cnac/>
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビルディング
TEL.03-5645-8856 FAX.03-5641-3523

お問い合わせ先